

## 2023年度 09)加速器質量分析装置等利用(共同利用) 採択一覧

12 件

\*所属機関・職名は申請時のとおり

\*Proposer's affiliation and job title are as of the proposal submission date.

研究代表者 Principal Investigator	所属機関* Affiliation*	職名* Job title*	所内担当教員 Corresponding ISEE researcher	研究課題 Project title
岸田拓士	ふじのくに地球環境史ミュージアム	准教授	北川 浩之	近代以前の生物の遺伝的多様性の解明のための解析試料の年代測定
高橋浩	産業技術総合研究所	主任研究員	南 雅代	水試料の放射性炭素濃度測定における生物活動の影響除去に関する新手法開発
谷水雅治	関西学院大学	教授	南 雅代	<sup>14</sup> C同位体指標用いた海藻生息域の海流季節変化の把握
中西利典	ふじのくに地球環境史ミュージアム	准教授	北川 浩之	沖積層に含まれる碎屑物を用いた堆積年代の高精度解析
勝田長貴	岐阜大学	准教授	南 雅代	湖沼堆積物を用いた最終氷期以降のモンゴル高原の古環境復元
山田和芳	早稲田大学	教授	北川 浩之	「トトロの森」の形成・発達史解明
北川淳子	福井県年縞博物館	学芸員	北川 浩之	福井県三方五湖周辺の遺跡の編年
池盛文数	名古屋市環境科学調査センター	研究員	南 雅代	放射性炭素を用いた大気エアロゾルの発生起源解析
荻谷愛彦	専修大学	教授	北川 浩之	赤石山脈における大規模斜面崩壊の発達過程解明に向けた高精度年代測定

---

研究代表者 Principal Investigator	所属機関* Affiliation*	職名* Job title*	所内担当教員 Corresponding ISEE researcher	研究課題 Project title
大路樹生	名古屋大学	特任教授	南 雅代	海洋棘皮動物の分布に対する氷期間氷期の影響
奥野 充	大阪公立大学	教授	南 雅代	湿地堆積物の堆積過程の高精度復元
窪田薫	海洋研究開発機構	研究員	南 雅代	温暖化アナログとしての縄文海進最盛期の北海道沿岸部の水温・栄養 塩循環・海流の定量的復元

---